

KIBOKO

木這子 Bulletin of the Tohoku University Library Vol.42, No.2



青葉山commons 2017.4 OPEN

青葉山commonsは、農学部講義室と図書館(農学分館)、ラーニングcommonsからなる複合施設で、食堂とショップも備えた新キャンパスの共有地(commons)です。

季節を感じる自然景観の中で、授業や自主的な学習・研究、食事や休憩にと、人々が学び、憩い、交流する場として誕生しました。



夏号

Contents

表紙

青葉山commons 2017.4 OPEN

SPECIAL

- 青葉山commonsフロアマップ 2
- 青葉山commonsのラーニングcommonsを会場に記念式典開催 4
- 祝開館! :利用者みなさまから、たくさんのメッセージが寄せられました。 5

LEARNING

- 電子ブックのススメ(10) 6
- 新書ではじめる知識の探求 6
- 平成28年度購入「特別図書」のご紹介 6

TOPICS

- 新入生向けイベント開催 7

Information

- EU展の開催 7
- 東北大学附属図書館のグローバル・ラーニングサポートがすごい! 8

SPECIAL

青葉山 commons フロアマップ



▶ 大講義室 (2階)



▶ 農学部講義室 (2階)

2F



ラーニング commons (1階) 約160席

自主的な学びと交流のためのラーニングスペース



▶ グループでの共同作業やアクティブラーニングに最適



▶ ミーティングスペース：ホワイトボード、プロジェクタ、スクリーンを活用したプレゼンやセミナーも



▶ 飲食しながら学習やミーティングも可能

話し合いながら
学習・交流



▶ 食堂・ショップ (1階)

東北大学附属図書館農学分館 開館時間

平日 9:00 ~ 20:00
(春・夏・冬季休業期間等 17:00まで)

農学研究科・農学部所属の方
平日・土日祝 7:00 ~ 24:00

農学分館閲覧室

(2階) 約160席 図書収容可能冊数:21万冊

静かに
集中



▶ 採光豊かなロフトで、好きな椅子をチョイスし、自然を感じながら学習 (上2階)



▶ 図書を活用しながらゆったりとした閲覧席で集中学習 (2階)

共用書庫

(1階) 図書収容可能冊数:50万冊



▶ 電動集密書架を導入し、附属図書館の書架スペースを増強。この書庫に収容された図書は、リクエストにより各キャンパス図書館にデリバリーも可能

各キャンパス
図書館の
デポジット



農学分館ラウンジ (1階)

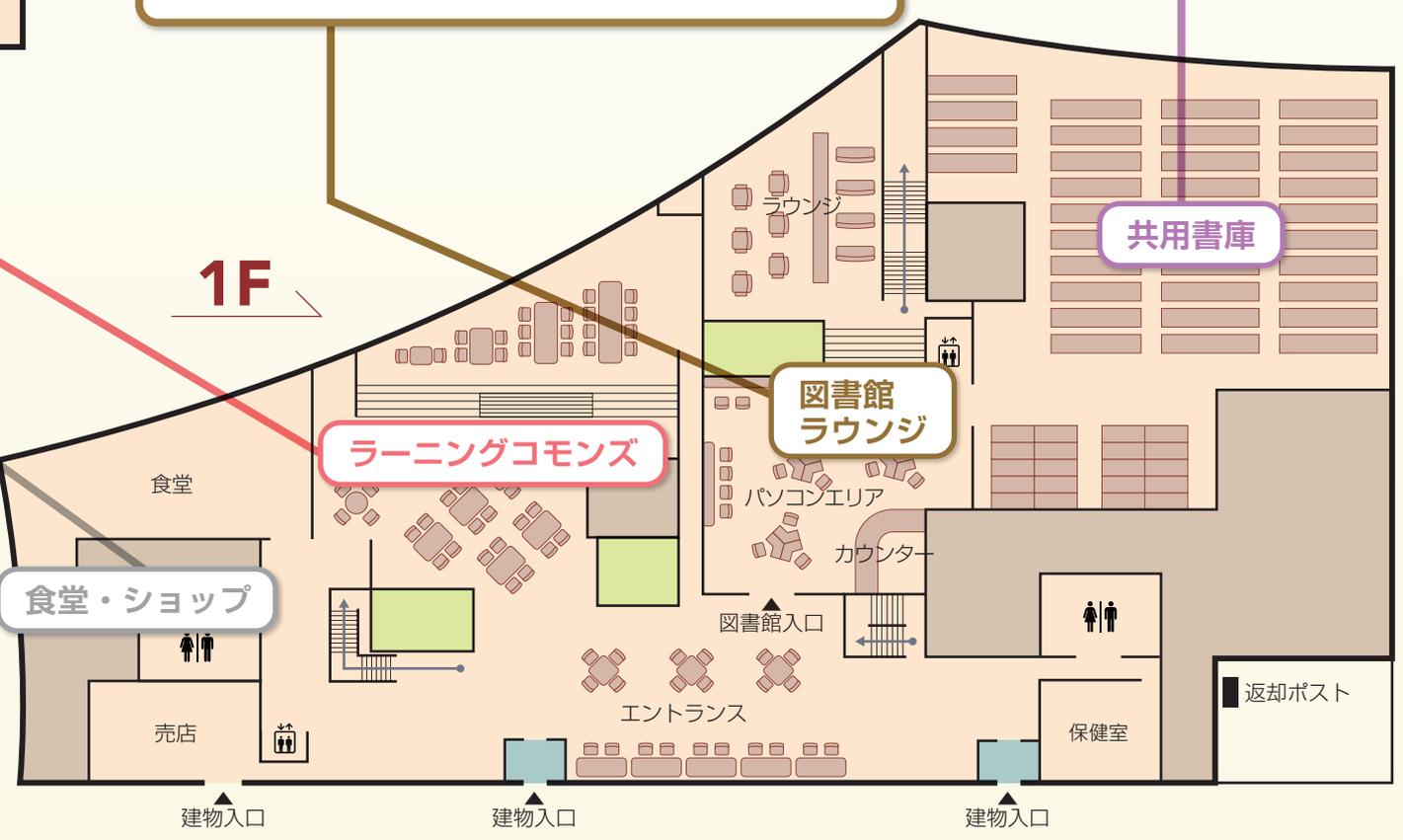
くつろぎと思索



▶ 知的刺激となる新聞やビジュアル図鑑・辞典・DVDで気分転換や思索を



1F



SPECIAL

青葉山 commons のラーニング commons を会場に記念式典開催

平成29年5月15日(月)、青葉山 commons 内のラーニング commons において、250人の来賓を迎え、「青葉山新キャンパス開設並びに農学系総合研究棟・青葉山 commons 竣工記念式典」が執り行われました。

里見進総長と牧野周農学研究科長の式辞の後、村井嘉浩宮城県知事、奥山恵美子仙台市長(代理)、山下治文部科学省大臣官房文教施設企画部長から祝辞をいただき、テープカットが行われました。



▶里見進総長による式辞



▶テープカット



▶植木俊哉理事・図書館長による開会・閉会の挨拶



▶東北大学混声合唱部による学生歌及び校友歌「緑の丘」斉唱



▶施設見学の様子



▶施設見学の様子



祝開館！：利用者みなさまから、たくさんのメッセージが寄せられました。



▶メッセージボード



▶新図書館オープン記念グッズを配布

<メッセージ>

お洒落で綺麗。ここで勉強して単位をとりたい。

広くてきれいで感動しました!! 自習スペースが広い。たくさん利用させていただきます♪

居心地が良すぎて、家に帰れなくなります...

すごく素敵です!! 窓も広くて入ってくる光もきれい!
図書館 LOVE

ロフトのカウンター席の椅子、いくつも種類があって、どれもおしゃれでホントに素敵ですね。

勉強したくなるわ。

工学部ですが、使わせてもらいます。

雰囲気もとてもよく通いたい図書館だなと思いました。

ステキなところですよ!! 絶対に土日開館してください。おねがいよ。

青葉山新キャンパス地図





電子ブックのススメ(10) 新書ではじめる知識の探求

今回は、「文庫クセジュ」(白水社出版)の電子版を紹介しします。日本では1951年から刊行されている新書で、ジャンルも幅広く、クセジュが全部揃えば百科事典になると言われています。過去に出版されたタイトルでも、新たな研究成果が発表されれば、改訂版として出版されています。また、内容もコンパクトにまとめられており(原書(フランス語)は全てが128ページ!),手軽に新しい知識を得られるのではないのでしょうか。

ジャパナレッジでは、これまでに出版されたえりすぐりの354冊を読むことができます。あなたの知識欲を刺激してくれる一冊を探してみてください。



▶ ジャパナレッジ「白水社文庫クセジュベストセレクション」画面



平成28年度購入「特別図書」のご紹介

附属図書館本館では、毎年、人文・社会科学系大学院の教育・研究に必要な基本資料の整備充実を目的とし、高額資料を整備しております。今回は、昨年度購入した資料の中から、いくつかご紹介しします。書庫に配架されておりますので、是非、ご利用ください。

「古代歴史文化研究輯刊 / 王明蓀主編. 第13編」(全27冊)

本館書庫GE265/0468

主に台湾の研究者による最新の中国研究を集めたもので、東洋史はもとより、中国文学、中国哲学、東洋・日本美術史にまたがる内容となっています。本書を含め、第1輯から第13輯まですべて所蔵しているのは全国で東北大学のみとなっています。

「図説翻訳文学総合事典 / 川戸道昭, 榊原貴教編著」(全5冊)

本館書庫KG2/0158

明治期以来の日本における翻訳文学について、「図録 日本の翻訳文学」、「原作者と作品」、「日本における翻訳文学(研究編)」のテーマ別に明らかにした「図説総合事典」です。比較文学的な研究において、必須の参考文献となるはずで。

「行動する女たちの会資料集成 / 高木澄子 [ほか] 編 (編集復刻版)」

本館書庫EF72/0508

「国際婦人年をきっかけとして行動を起こす女たちの会」の活動記録を網羅した資料です。1970年代から1990年代のウーマンリブ・フェミニズム運動の一躍を担った「行動する会」の活動を記録したチラシ・宣伝文・裁判資料・リーフレット・機関紙等を収録した資料です。

「清経解四編 / 劉曉東, 杜澤遜編」(全14冊)

本館書庫HB23/0207

清代の経学研究の成果である『皇清経解』や『皇清経解続編』『清経解三編』に継ぐ『清経解全編』シリーズの一つです。『尚書大伝』や『周礼補注』、『礼記章句』、『論語旁証』などの著作50種の優れた底本を選択し影印収録したものです。

新入生向けイベント開催

本館では、平成29年4月3日(月)～30日(日)の期間、新入学生・大学院生・留学生を対象とした各種イベントを開催しました。

『ようこそ!東北大学図書館へー 知ってknow・体験してtry・学ぼうlearn』のキャッチコピーのもと、図書館の利用方法や館内各エリアの説明、図書館体験ツアー(セルフツアー)、新入生歓迎展示などを行いました。今回初めて実施したセルフツアーには、館内のチェックポイントを回る、解答用紙を手にした多くの学生の姿が見られました。

また、留学生コンシェルジュが作成した本館プロモーションビデオは、入館者の注目を集めていました。

イベントの期間中来館した新入生には、図書館の利用や今後の学習に役立つ情報満載の「スターターパック」を配布しました。当館の所蔵資料や様々なサービスを活用し、今後の学生生活に生かしていただければ幸いです。



▶スターターパック



▶セルフツアーの様子



▶新入生歓迎展示「あなたの知らない書庫の世界」



▶本館プロモーションビデオ (YouTube)

Information

EU展の開催

東北大学附属図書館はEUi(EU情報センター)に指定されており、EU関連の資料を収集、公開しています。例年、5月9日のヨーロッパデーに合わせて、日・EUフレンドシップウィークの関連イベントを行なっています。



▶当館所蔵の貴重な資料も展示

現在本館1号館エントランスの展示コーナーにて、7月17日(月)までの期間、EUフレンドシップウィーク展示「EUと科学技術: 未来を創る日欧フレンドシップ」を開催しています。

ヨーロッパの科学技術の始まりから近現代までを振り返り、現在のEUの科学技術政策や国際協働プログラムであるHorizon2020の紹介と、日欧共同プロジェクトとして東北大学で行われている最新研究について解説しています。



▶展示会場の様子

会場では、展示に関連した問題に全問正解するとEUグッズがもらえるクイズも行っていますので奮ってご参加ください。

また、7月13日(木)には、日欧共同プロジェクト iKaaS (Intelligent Knowledge-as-a-Service) をテーマにした、本学サイバーサイエンスセンター菅沼拓夫教授ほかによるビッグデータとスマートシティについての講演およびパネルディスカッションも開催します。

Information

東北大学附属図書館のグローバル・ラーニングサポートがすごい！

東北大学には、平成29年5月現在、約2,000人の留学生在籍しています。附属図書館では、留学生のための図書館利用・学習支援、日本人学生への留学支援、国際交流イベントの実施等を通して、グローバル社会で活躍できる人材の育成を後押ししています。

ここでは、新たに提供開始したBasic User's GuideとAsk a Librarianサービスについて紹介します。

① 多言語Basic User's Guide

東北大学に在籍する留学生の図書館利用・学習支援を目的として、平成29年3月、英語、中国語、韓国語、インドネシア語版のBasic User's Guide小冊子を発行しました。本館レファレンスデスクのほか、各分館で配布しています。

また、これらの言語を含めたタイ語、ドイツ語、ロシア語等24か国語版（中国語は簡体字・繁体字があるため25ファイル）のPDF版を、以下のURL（当館英語版ウェブサイト）からダウンロードすることができます。



▶4言語の小冊子



▶英語版ウェブサイトからダウンロード可能

<http://www.library.tohoku.ac.jp/en/mainlibrary/guidance.html>

② Ask a Librarianサービス

Google Hangoutsを活用した、ビデオチャット相談サービス“Ask a Librarian”が始まりました。自宅や他キャンパスなどから、本館の留学生コンシェルジュとGoogle Hangoutsでつなぎ、リアルタイムで図書館利用や文献探索についての相談ができます。

留学生コンシェルジュは、現在13ヶ国出身の15人が在籍しており、日本語・英語以外にそれぞれの母語での対応が可能です。Google Hangoutsへの入口と、各国語の対応時間は、以下のURLのカレンダーで確認することができます。



▶留学生コンシェルジュデスク



▶サービスイメージ図

<http://www.library.tohoku.ac.jp/en/mainlibrary/librarian.html>

③ グローバルセッション開催

平成29年4月21日（金）、本館グローバル学習室にて第6回グローバルセッション「ダイナミック・インディア」を開催しました。グローバルセッションは、留学生と日本人学生との交流とグローバル学習関連資料の利用を促すため、平成27年7月から開催しています。

今回は、南アジアに関する2部構成のセッションを行いました。第1部は、インド映画「ムトゥ：踊るマハラジャ」の字幕監修を務めた山下博司教授（国際文化研究科）による自著についての講演、第2部では、インドのほかバングラデシュやネパール等、南アジア圏の留学生4名と日本人大学院生1名の計5名が、「南インドみんなの10年」のテーマでそれぞれの10年間の経験を語りました。

当日は、学内外から約50名もの参加者があり、登壇した留学生に日本人学生が英語で質問するなど活発な質疑応答が繰り広げられました。

今後も本館では、日本人学生と留学生の双方向コミュニケーションの場となるような様々なイベントを企画していく予定です。



▶南アジア圏からの留学生たち



▶講演を行う山下教授



Tohoku Univ. Library
@hagi_no_suke

東北大学附属図書館のツイッター公式アカウントです。東北大学生の学習とキャンパスライフのためにつばやきます。
http://twilog.org/hagi_no_suke
Sendai, Miyagi, JAPAN